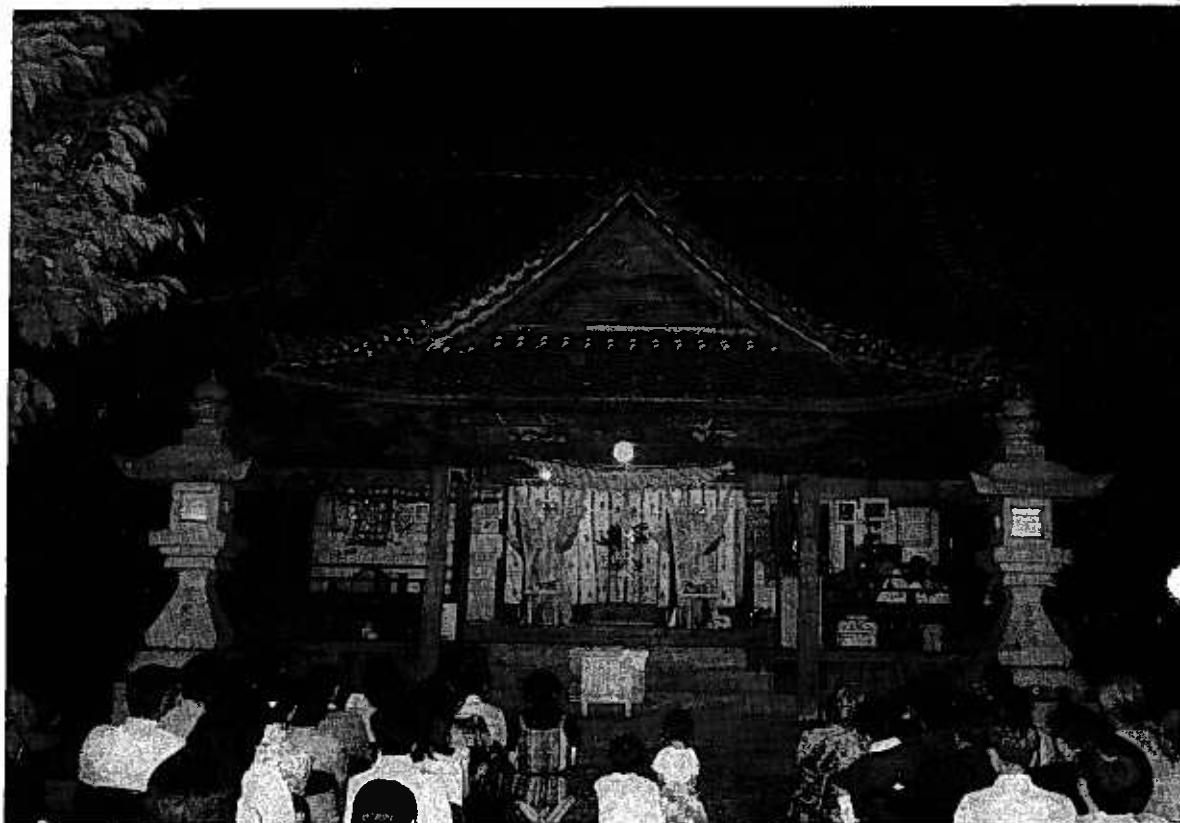
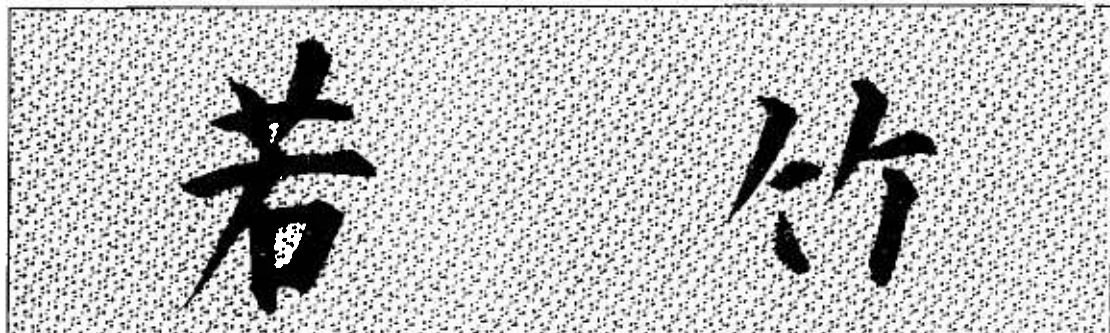


第三十三号



神道青年会の御問合せ、
会費納入等は

事務局 吉田 充 興
〒791 宇和島市和霊町1451 和霊神社内
TEL 0895-22-0197 FAX 22-0227

投稿、原稿、写真等の送付
「若竹」の御問合せは、

「若竹」編集局 飯尾 眞 通
〒799-13 東予市円海寺 191
TEL 0898-64-0893 (FAX 兼)

御挨拶

拝啓 時下益々御清栄の事と拝察申し上げます。常より当会への御厚情、厚くお礼を申し上げます。

今般の当愛媛県神道青年会の役員改選に伴い、私共新役員に選出され、会の重責を担う事となりました。

今後、皆様方、諸先輩方々の御指導を戴きつつ、会員一丸となつて青年神職として一層の発展を図るべく、活動を推進致して参る所存です。何卒格別の御指導御鞭撻を賜ります様お願い申し上げます。

先ずは略儀ながら紙面をもって就任の御挨拶とさせていただきます。

各位

愛媛県神道青年会 新役員

会長 真鍋 豊孝

副会長 飯尾 眞通

同 田内 一弘

同、兼、事務局

吉田 充興

御挨拶

謹啓 時下益々御清祥の段、お慶び申し上げます。

私共、今回任期満了につき、役員を退任する事となりました。

在任中には格別の御厚情を賜りました事、厚くお礼申し上げます。

右、乍略儀書面よりお礼を申し上げ、今後も当会への御指導をお願い申し上げます。

各位

愛媛県神道青年会

前、会長 武智 正人

外、役員一同

授与品奉製

伊勢の



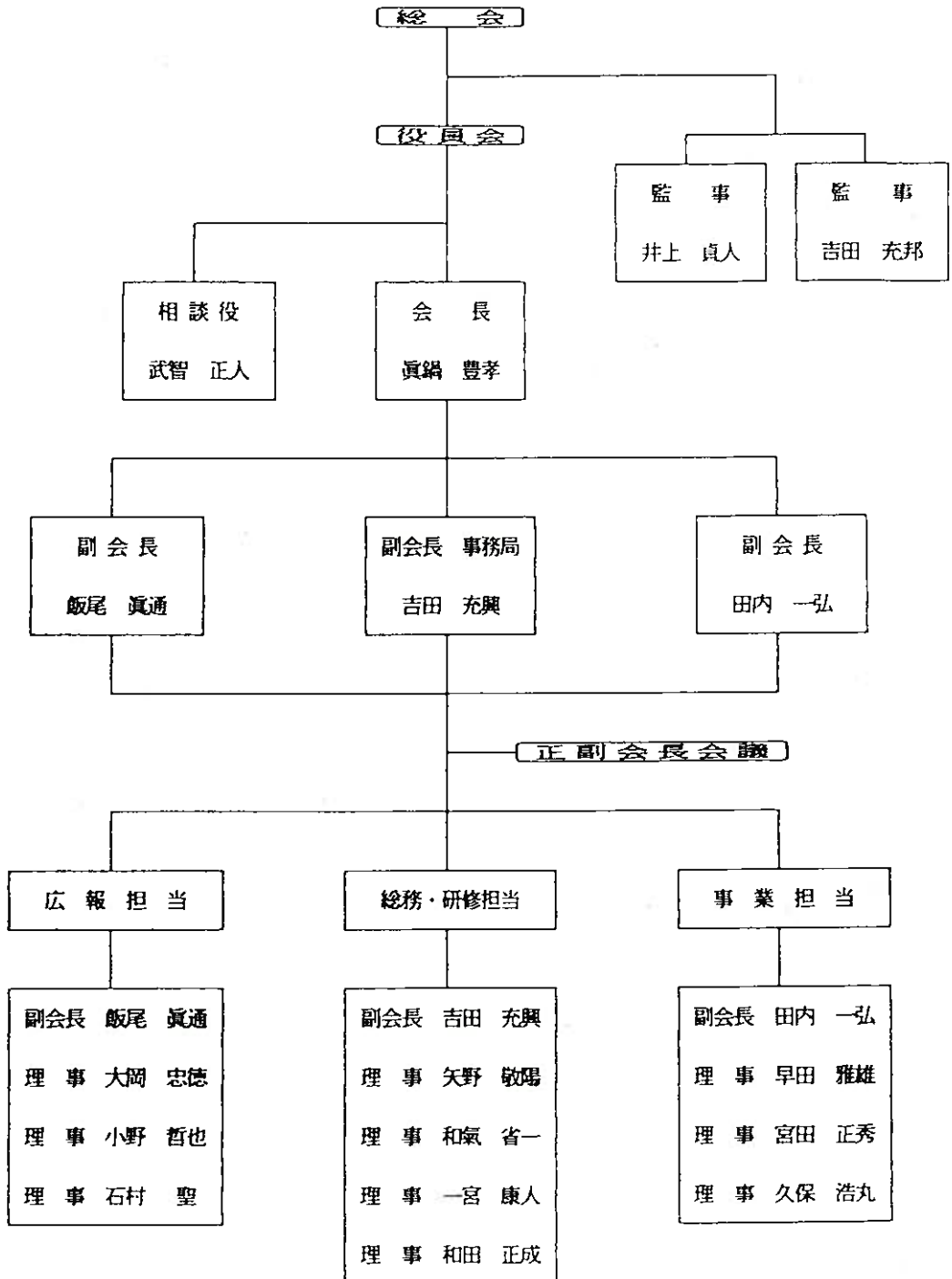
株式会社

神路社

〒561

伊勢市若洲二丁目5番29号(私設1926号)
TEL 0596-24-5858(代表)
FAX 0596-24-5110

平成 9 年度 愛媛県神道青年会組織図



神青協臨時總會開催

一月三十日 於、神社本庁

東京都篠 直嗣 新・会長決定

神青協臨時總會が、神社本庁大講堂にて開催された。

神青協は御在知の如く、全国の各都道府県の神道青年会の総合的な組織であり四国地区よりも四国地区理事、指名理事の役員が外向している。会場は、本庁よりの派遣理事の承認に続いて、平成八年度の会務報告、そして二年を一任期とする神青協の次期会長が選任された。次期会長には、東京都の篠



直嗣君が役員会よりの推挙を受け、全員一致で承認された。

篠新会長は現在、神青協の副会長、東京都神道青年会の監事であり、神青協創立四十五周年の記念事業実行委員長等を歴任、北方現会長、西高辻前会長の片腕として活躍されている。

次年度四月よりは、北海道の北方幸彦現会長よりバトンタッチされ、挑む事となります。

武智 秀忠(たけち ひでた だ)

正友 神社

昭和四十五年九月二十四日生

松山市南高井町一二五八

☎〇八九・九七六・四九五〇

現在椿神社で実習中です。

これから父親と一緒に神明奉仕に努めますので、宜しくお願ひします。



十亀 博行(そがめ ひろゆ き)

石鎚神社祢宜

昭和四十六年九月十六日生

西条市西田甲六〇二の二

☎〇八九七・五七・七七三三

七年振り(大学も含む)に愛媛に帰って来ました。

大変かわっているのびびくりしています。

これからも宜しくお願ひします。

△ 新人さん紹介 ▽

榊山 春明(さかきやま はるのり)

稻荷神社

昭和四十八年一月二十六日生

伊予郡松前町大字西高柳一二八

(鎮座地 高柳一三〇)

☎〇八九・七八四・八一二四

平成七年に愛媛県に帰り、日が浅く何もわかりませんが、末永くお願ひ致します。



伊予三島市豊岡町大町三番地
昭和四十七年十二月二日生れ



西条市西田甲七九七
石鎚神社 権祿宜



奉務先 西条市 石鎚神社
住 所 西条市西田甲七九七
☎〇八九七―五五―四〇四四
昭和五十一年十月十六日生れ



此度、神道青年会に入会させて戴くことになりました高岡健と申します。

自分は奉職して間もな
く、分らないことばかりで
すが、一生懸命勉強して早く
一人前の神主になれる様に努
力したいと思っています。
どうぞよろしくお願い致し
ます。

昭和四十九年五月二四日生れ

江藤 幸二

☎〇八九七―五五―四〇四四
これから、多くの事を勉
び
頑張りたいと思います。
御指導の程よろしくお願
い
致します。

厳島神社
☎〇八九六―二五―一〇〇三九
合 田 慶 守

これからがんばっていき
たいと思いますので、どうぞ
よろしくお願いたします。

広報よりのお知らせ

先の神青協定例総会に於いて我が「若竹」が神青協より「優秀会報賞」

を戴きました。これも原稿を御寄せ下さった方を始め、皆様方の御協力の賜物と感謝致して居ります。

今後とも「若竹」発刊に御協力の程宜しく御願致します。

今回の執行部より、広報担当者が増員されました。ここで御紹介致します。

- 東予 大岡 忠徳 君
- 中予 小野 哲也 君
- 南予 石村 聖 君

その他、総務・研修担当者
と、事業担当者を割り当て
て更成る会の充実、発展を
目指します。今後とも宜しく
お願い申し上げます。

年度会費納入者

- 山下 幸志 三島 安詔
- 三島 安雅 眞鍋 豊孝
- 後藤 雅彦 渡邊 平
- 柳原 幸 飯尾 眞通

- | | |
|-------|-------|
| 井上 貞人 | 田内 一弘 |
| 武智 正人 | 大岡 忠徳 |
| 曾我部英司 | 片岡 功好 |
| 山中 将史 | 田窪 一善 |
| 佐々木規人 | 江藤 幸二 |
| 吉田 充邦 | 久保 盛浩 |
| 吉田 充興 | 一宮 利史 |
| 和田 正成 | 二神 良昌 |
| 宮田 正秀 | 和氣 省一 |
| 早田 雅雄 | 一宮 康人 |
| 久保 浩丸 | 額田 照彦 |
| 能田 誠一 | 武智 国吏 |
| 久米 泰 | 是沢 邦久 |
| 小野 哲也 | 石村 聖 |
| 熊本 真克 | 矢野 敬陽 |
| 及川 徹也 | 芥川 亮 |
| 田内 一弘 | |

宮内庁・神宮司庁・神社本庁 御用達

株式会社 **若竹**

本社 京都市下京区油小路通六条上(〒600)
電話(075)341-3341(内) FAX(075)341-7902

東京店 東京都新宿区四谷三栄町11-6(〒160)
電話(03)3357-4800(内) FAX(03)3357-4805

福岡店 福岡市博多区東公園2-31(吉塚駅前)(〒812)
電話(092)651-9456(内) FAX(092)631-0835

観月神楽の夕べ

和田 正 成

去る平成八年九月七日、宇摩郡土居町土居神社に於いて、「観月神楽の夕べ」が開催されました。

この催しは神道青年会が中心となり、氏子崇敬者の皆様に雅楽、神楽への御理解を戴き、各御社頭の発展、ひいては神社神道の隆昌を目指し行つて居ります。今回も土居神社矢野宮司様のお計らいにより多くの方々の御参集を賜り、誠に盛況大にして雅びな夕べとなりました。

御奉納させて戴きました土居神社関係の皆様方を始め、お手伝い戴きました神宵OBの皆様方にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

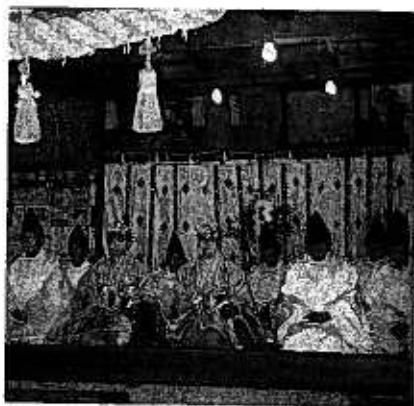
今後とも雅楽、神楽の技術は無論ながら、その青神面も日々研鑽致し、多くの皆様に御拝聴戴き、各神社の御神威

発揚のささやかな手助けともなればと、願っております。尚、神道青年会では、本年、平成九年の観月神楽の受け入れを頂けるお社を、お願いを致しております。



観月神楽の夕べは、氏神様の御神前にて神楽舞や雅楽を通して親しんで頂ければ、との神道青年会の活動であり、神道青年会は御奉仕でありますので、交通費等、御心遣いは一切必要ございません。会場の椅子等の設営、氏子の皆様へのお呼び掛け等、若干のお願いを致す事もございますが、先ずはお問い合わせ下さいませお願いを申し上げます。

お問い合わせ
神道青年会会長 真鍋豊孝
松山市 椿神社内
☎ 〇八九・九五六・〇三二一



装束祭具の御下命は
有竹重
京都下京区西洞院花屋町上ル
TEL (075) 331-0394 (代)
FAX (075) 331-6966
振替口座京都六〇一〇二四三二



建国記念の日 奉祝 愛媛県民大会に参加して

飯尾 真通

平成九年二月十一日、愛媛県民文化会館サブホールにて行われた「建国記念の日奉祝愛媛県民大会」に裏方として参加させて頂きました。

第一部の奉祝式典の後、台湾・東方工商専科大学学長、許国雄先生より、「日本人へのメッセージ」

「台湾に生きる」やまとだましい「——」との演題にて記念講演を戴きました。

若かりし頃、日本での学生生活の中で培った「やまとだましい」に基づいた政治活動（現在、内閣及び国民党顧問）を行いつつ、日本の「教育勅語」の精神に基づいた教育活動を続け、平成五年九月には日本語学科を設置し、天皇皇后陛下の御成婚記念日の四月十日に日本語学科新設式典を開くといった様に戦前の良き日本の精神を未だ持ち続け、

実践されておられるのであり、現在の日本人の考えや、現状が大変憂えている様を切々と訴えられました。

「天皇」という大きな素晴らしい柱を戴いているからこそ、敗戦後もこれほどの繁栄が実現したのであって、なお且つ先の大戦で散っていった多数の英霊達の命を無駄にしないためにも「若い」と言われている我々が「大御心」を少しでも理解し、実践して行かなければ今までの繁栄は砂上の楼閣となってしまうのではないのでしょうか。

家に帰り、布団の中で振り返るとそういった事が頭に浮かびました。
我々の未来はどうなるのでしょうか。どう造るのでしょ

第四十九回 神道青協定例総会

行われる

平成九年四月二十三日（水）

於、神社本庁二階大講堂

東京は神社本庁にて第四十九回定例総会が取り行われました。本年度は執行部の改正の年であり、先の一月三十日に行われた臨時総会にて決定された新会長の就任が正式に認可されました。それに伴って我々愛媛神青協会の武智正人君が会長指名理事に、高知の小原実君が四国地区理事に任命されました。これに伴って我が四国地区に於いても地区協、及び愛媛神青の執行部の役員改選が行われます。愛媛神青では任期満了に伴い、会長は松山の真鍋豊孝君に、副会長は現東予地区飯尾真通、南予地区吉田充興君、そして新しく中予地区は田内一弘君を予定しております。又、事務局は宇和島是和霊神社の吉田充興君へと移動致します。

今度の愛媛神青定例総会に於いて提案され、認可がおり次第今後の事務的処理は全て和霊神社の吉田君宛にお願い致します。

事務局
郵便番号 七九一

宇和島市和霊町1451

和 霊 神 社

☎ 〇八九五

二二一〇一九八

F A X

〇九九五―二二一〇二二七



嗣直 篠
新 会 長



正智 武
会 長 指 名 理 事



実 小原
四 国 地 区 理 事

神道自然

探訪会のお知らせ

先頃「若竹」紙上にて御案内させて頂きました神道青年会有志によります自然探訪会「四万十川編」、昨年九月下旬天候不順の中、八名の有志の参加を得て開催されました。一泊二日の短い行程でしたが、刻々と移ろう気象条件の中、様々な経験を致しました。中でも特筆すべきは、夜半から始まったカゲロウの大量羽化でした。

雨の中、増水気味の水面から飛び立つカゲロウ。ランタンの灯りの下、絨毯を敷き詰めたように折り重なる小さな生命にこの川の生命力を感じさせられました。

いにしえの人々が「川」に多くの神々を見出したその一端を垣間見た様な、言葉に現すことの出来ない、「畏きもの」を感じました。

今回御参加戴いた皆様もそれぞれ言葉に出来ない「何か」

を持ち帰り、実生活の中で反芻し思考し、反映される事だと思えます。そして、神道に携わる者としての心の糧になれば、と願っています。

次回は三月中旬か下旬に開催したいと思えます。

探訪先は伊予郡広田村広田権現山（広田石鎚山）です。石鎚山と同じ様な山岳信仰のある山だそうです。詳しい内容は現在計画中です。御興味のある方は実行委員会迄お問い合わせ下さい。

第四回神道自然探訪会

実行委員長

内田 一弘

☎〇八九・九二二・四四六八

神青中央研修会

に参加して

一 宮 康 人

三月五・六日と、熊本県ホテルキャッスルにおいて平成八年度神青中央研修会が開催

されました。愛媛県青からは、真鍋副会長以下四名が参加。

全国からは、総勢三四七名余の参加となり、今までになく盛大な中央研修会となりました。熊本といえば、熊本美人、馬刺しに芥子れんこん、そんなものに思いを巡らせながら始まった今回の研修テーマは、「神事芸能の現在」。

開講式に続いて、国立劇場芸能部長、西角井先生の基礎講演、球磨神楽の上演、パネリストによる発題講演、討論会と現代の神事芸能が抱えている問題などについて活発な意見交換が行なわれました。特に、伝承者の高齢化に伴う存続の危機、また、質の低下などについては、各方面のパネラーからさまざまな意見が出され、非常に参考になりました。こうして一日目の日程は終了。夜は懇親会が催され、皆、旧友との再会を喜び、熊本夜の街へと消えて行きました。

二日目は、眠い目をこすりながら、昨日に続いての討論会、レポート作成、そして閉

講式。その全日程を終え中央研修会は幕を閉じました。

今回の研修会に参加して一番感じたことは、研修の内容もさることながら、熊本の本神青のまとまりの良さ、九州神青の連係の良さでした。

これは、九州の高速道における交通網の整備が少なからずも関係があるのでと思います。高速によって身近になった分だけまとまりが付き、連係も生れたのではないかと。愛媛は、まだまだ遅れてはいるものの、次第に高速も整備され始めています。庁舎もインターのそばに建設されるようです。愛媛神青も新しい時代を迎えようとしているのではないのでしょうか。神青のメンバー一人一人が、今以上に神青をもっと身近に感じ、楽しく活動できる会となることを願いながら、今回のレポートを閉じさせていただきます。



第二十六回

定時総会開催さる

石村 聖

去る五月十二日、国際ホテル松山において愛媛県神道青年会の第二十六回定時総会が開催された。本年は役員改選の年であり、新会長に眞鍋豊孝氏（伊豫豆比古命神社権柄宜）を選出した。

開会式の後、武智会長が「短い期間であったが、神青を通じて大きく成長させて頂いた。今後も会の発展のために御協力をお願いしたい。」と挨拶。引き続き来賓を代表して三輪田元亮愛媛県神社庁長より祝辞を賜った後、柳原幸氏を議長に選出、議案審議に移った。主な議案は八年度会務報告、八年度会計報告承認の件、新会長・新役員選出の件となり前掲の通り新会長には伊豫豆比古命神社権柄宜の眞鍋豊孝氏が、また新会長も含め十七名の新役員が選出され、次に九年度事業計画、九

年度予算も承認され、無事閉会した。

また、会の中で事務局より県神青の会報「若竹」が神青協平成八年度優秀会報賞を受賞した事、および武智前会長が神青協四国地区の指名理事に選任された（任期四年）旨報告があった。武智前会長には引き続き相談役として御指導を頂く予定である。

今回出席者数三十四名と昨年度二十一名を大幅に上回る盛会であったことは新体制にあって喜ばしい門出である。三輪田庁長が祝辞の中で述べられた「若手神職は青年会という組織の中で研鑽を積み、精進してほしい。」というお言葉を少しでも実践できるように努力し、会員の方々の期待を裏切ることのないよう精進していきたい。

* 敬神生活の綱領

作詞 村岡 俊司
作曲 黛 敏郎

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、大平を開くの基であらう。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

* 神道青年の歌

作詞 大木 惇夫
作曲 平井康三郎

日本の あしたを告げて
あたらしき 光はきたる

若人の 希望の歌は

なつかしき みどりの列島を
ゆるがせて 高くとどろく

ああ ひんがしの 美し国に
いのちうけて 生ひ立つ われら

美はしき山河

美はしき山河を見よ

山河は物を言はねど

言はずして叫ぶならずや

わが民よ ふるいたてよと

みどりの若さ 花咲き薫る日の

光のために

神道青年四国地区協議会 平成八年度定例総会 第二回研修会報告

矢野 敬陽

去る八月二十一日より徳島地区協議会・平成八年度定例総会・第二回研修会（徳島県・島田年神職会主幹）に愛媛県神道青年会会員十名が参加しました。

総会に先立ち、忌部神社（門家茂樹宮司・徳島市二軒屋町鎮座）にて正式参拝を終え、総会・研修会に臨みました。

今年度の研修主題は「現代社会の齋忌（イミ）について。本来、消極的な儀礼である

「イミ」が、現代社会の中でその機構の寛容化を余儀無くされ、我が国の伝統文化にも深く関わる問題を提起している。昨今、神道の根幹を成す問題として齋戒や死喪に関する忌の観念や、イミとタブーの

関連について、現代社会に生活する青年神職である我々がどう考えてゆくか、というテーマでした。

皇學館大学名誉教授・岡田重精先生の講義を初日に受講。二日目に参加者相互のディスカッションを行い服喪についての事例発表を行い、氏子・崇敬者の服喪期間の祭りへの参加の是非など、それぞれ経験を踏まえた意見を交換しました。

私は四国地区協議会に初めて参加しました。同じように日々神明奉仕する人達が、年に一度集まり主題について討議出来る場があることがとても嬉しく感じました。自己研鑽、神道教化、支部内外の助

け合い等など、何を執ってもこういうました。各自奉務神社での齋戒や「神道人のネットワーク」が大切だと思えます。九年度も多数の参加者と共に勉強したく思います。



品 授 与 神 社 記 念 品 奉 製

株式会社 長谷川製作所

〒114 東京都北区豊島三丁目二番十三号

代表取締役 長谷川 和夫

電話 東京 03 (3912) 6161
FAX 東京 03 (3912) 3131

授 与 品 奉 製

希 牟 羅

代表 木 村 甯

〒114 東京都北区王子 5-12-9
TEL 03-3912-0573

繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ
授与品の奉製

古都奈良の
株式会社 大和奉神堂

〒630 奈良市山村町782番地
TEL 0742-62-3235(代)
FAX 0742-62-3228

◆ 平成八年度援助金・寄付賛助者御芳名 ◆

神社庁助成金

(金二十万円也)

平成八年度助成金

平成八年度 寄付助成芳名

(金十万円也)

石 鎚 神 社 十亀 興美殿

伊豫豆比古命神社 長曾我部 延昭殿

(金七万円也)

和 靈 神 社 三輪田 元亮 殿

(金六万円也)

庁松山支部殿

(金五万円也)

愛媛縣護國神社 波爾 莊殿

(金四万円也)

庁宇和山支部 殿

(金三万円也)

一 宮 神 社 矢野 哲夫殿

日招八幡大神社 玉井 正素殿

庁大洲支部殿

庁喜多郡支部 殿

(金二万円也)

蔵 殿 島 神 社 柳原 宰殿

竹内 美堯殿

庁久万支部殿

庁新居浜支部殿

庁八幡浜支部 殿

庁西宇和郡支部殿

庁小田支部殿

庁宇和島支部殿

庁南宇和郡支部殿

庁大三島支部 殿

庁北宇和郡支部殿

飯尾 宏隆殿

越智 寿殿

石 岡 神 社 矢野 正實殿

風 伯 神 社 高橋 佳幹殿

橘 新 宮 神 社 平田 茂光殿

玉 生 八 幡 神 社 森 正康殿

綾 延 神 社 石川 漢見殿

嘉 母 神 社 庁周桑支部殿

和 靈 神 社 阿部 吉康殿

大 西 神 社 及川 徹也殿

原 八 幡 大 神 社 矢野 敬陽殿

村 山 神 社 榊田 三雄殿

白 山 神 社 大岡 益子殿

保 内 八 幡 神 社 矢野 直臣殿

三 島 神 社 垂水 隆昌殿

姫 坂 神 社 沼崎 嘉吉殿

熊 野 神 社 田邊 捷殿

三 島 神 社 馬越 晴通殿

生 名 八 幡 神 社 西村 純子殿

石 清 水 八 幡 神 社 庁伯方上島支部殿

桑 原 八 幡 神 社 芥川 亮殿

雄 郡 神 社 石丸 典良殿

伊 豫 稻 荷 神 社 高市 誠司殿

大 宮 八 幡 神 社 庁忽那島支部 殿

三 島 神 社 星野 鶴廣殿

正 八 幡 神 社 眞鍋 和敏殿

三 島 神 社 横田 清光殿

三 島 神 社 権名 津千風殿

波 賀 部 神 社 能田 隆三殿

松 山 神 社 武智 圭邑殿

新 田 神 社 正岡 一男殿

總 社 大 明 神 社 沖中 譽富殿

八 幡 神 社 森本 茂章殿

吉岡 太郎殿

築島	立石	南山	三天	新田	八坂	三島	廣瀬	金刀	大元	當田	川上	高家	恵依	三島	天満	天一	姫子	喜多	高浜	黒嶋	八幡	野間	(金五千円也)
神	神	神	神	神	神	神	神	羅幡	幡	幡	幡	幡	二名	神	神	神	神	大神	神	神	神	神	神
社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社	社
渡部	都築	都築	都築	都築	都築	高市	池田	山下	大野	額田	野口	都子	高市	武智	大内	武智	井村	馬越	龜山	近藤	安藤	鴨頭	
正己殿	芳憲殿	芳憲殿	芳憲殿	芳憲殿	芳憲殿	俊次殿	誠規殿	幸伸殿	勘蔵殿	重則殿	泰治殿	清明殿	慶久殿	啓殿	明殿	純二殿	弘二殿	祥穂殿	和磨殿	史孝殿	潔殿	司殿	

高忍	八幡	和靈	愛媛	伊豫	(金一万元也)	伊豫	大元	徳威	三皇	土居	多賀	八坂	天満	渡部	定詮殿
日壳神社	神	神	縣護國神社	豆比古命神社		豆比古命神社	神	神	神	神	神	神	神	神	神
後藤 正宜殿	小野 義興殿	三輪田 元亮殿	波爾 莊殿	長曾我部 延昭殿		長曾我部 延昭殿	社	社	社	社	社	社	社	社	社
県女子神職会 殿	県神 社 庁殿	三輪田 元亮殿	波爾 莊殿	長曾我部 延昭殿		長曾我部 延昭殿	矢野 賀久殿	首藤 満理恵殿	熊本 真克殿	矢野 耕一郎殿	久保 凸丸殿	阿部 重満殿	八幡神社氏子会殿	武智 成保殿	渡部 定詮殿

第二十五回 定時総会援助金

日招	和靈	愛媛	伊豫	(金一万元也)	伊豫	(金二万元也)	伊豫	熊野	(金一万元也)	熊野	(金二万元也)	観月神楽の夕へ援助金
八幡大神社	神	縣護國神社	豆比古命神社		豆比古命神社		神	神		神		
玉井 正素殿	三輪田 元亮殿	波爾 莊殿	長曾我部 延昭殿		長曾我部 延昭殿		社	社		社		
県女子神職会 殿	県神 社 庁殿	三輪田 元亮殿	波爾 莊殿		長曾我部 延昭殿		田邊 捷殿	泉神 社 庁殿		長曾我部 延昭殿		

平成八年度歳入歳出決算書

愛媛県神道青年会

自 平成八年四月一日
至 平成九年三月三十一日

特別会計
(基金)

歳入 2,609,733円
歳出 2,002,970円
差引 606,763円(次年度へ繰越)

歳入の部

項目	予算額	決算額	増減(△減)	附記
1 会費	270,000	335,000	65,000	年度会費 新年互礼会費
2 助成金	200,000	200,000	0	神社庁
3 寄付金	1,350,000	1,369,000	19,000	県内神社神職 その他援助金
4 雑収入	87,367	63,100	△24,267	預金利子 会報広告料 還付金
5 繰越金	642,633	642,633	0	
歳入合計	2,550,000	2,609,733	59,733	

歳出の部

項目	予算額	決算額	増減(△減)	附記
1 会議費	400,000	398,446	△1,554	総会 新年互礼会 その他会議
2 研修教化	500,000	392,768	△107,232	地区協研修会 観月神楽 夏期に その他
3 事業費	700,000	412,000	△288,000	初詣案内(ポスター・スポット)
4 広報費	180,000	105,067	△74,933	若竹等
5 事務費	120,000	150,024	30,024	切手 葉書 封筒 事務用品 振替手数料
6 備品費	10,000	0	△10,000	
7 旅費	200,000	160,000	△40,000	中央総会補助
8 慶弔費	40,000	68,944	28,944	御祝金 電報 その他
9 分担費	270,000	265,721	△4,279	神青協繰出金 地区協繰出金 北方領土
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	30,000	0	△30,000	菓子
12 予備費	50,000	0	△50,000	
歳出合計	2,550,000	2,002,970	△547,030	

定額貯金	300,000	松山市東石井町	松山石井郵便局
定額貯金	300,000	松山市東石井町	松山石井郵便局
定額貯金	300,000	松山市東石井町	松山石井郵便局
通常貯金	170,376	松山市東石井町	松山石井郵便局
利子収入	592		
合計	1,070,968		

監査報告

平成8年度会計歳入歳出決算書、特別会計(基金)につき、
それぞれ監査の結果、適性であることを認めます。

監事 堀 司 ㊟

監事 井上 貞人 ㊟

△お時間拝借▽

モグラ

雑学 II

「昔イギリスの騎士の馬がモグラの穴に足を取られ落馬、絶命しました。」今でも競馬関係者ではモグラは嫌われ者です。

今回のお時間拝借は前回同様モグラのお話から始めます。

肉食のモグラは一日当たり自分の体重の約半分の量を食べ、十四〜一五時間餌が無いと体力が無くなり、二十時間ほどで飢え死にしていま

す。その為メイン通路が高速道路並みに整備されており、その内側が全て大饗宴会場にな

っている訳です。つまり地面から十五センチの深さに餌採り用の水平トンネルを掘り、

春や秋に土を地表に盛り上げ、庭や畑、ゴルフ場を荒らし、

大変嫌われます。本道は地下三十〜四〇センチの深さで、

乾燥した土中を好み、大きな木の根っこの下辺りの深い所を主寝室にしています。なん

と贅沢な!

自分の縄張りには種によって多少の差はありますが、大体

450㎡で、春になると雄が雌のトンネルへと出掛けて行

き、交尾をしますが、すぐ別れて母子家庭になります。誰

ですか?好きなように夜這いが出ていいなんて言ってる人は?

地下のトンネル生活に適應するためモグラの目は皮膚の下に隠れ、真っ直ぐに生えた

毛に覆われています。鼻は尖り、頭は円錐形、そして口は

土よけの為に二重の唇を持ち耳タブの無い大きな耳穴も体

毛で塞がっています。細く小さな腰骨も真っ直ぐに伸びた

体毛も、そして授乳期のみ体側に出る乳頭も地下のトンネ

ル生活者にとっては最大限の適應ではないでしょうか。

BU・T・しかし、厳しいかなこんなモグラにも天敵はい

ます。梟、イタチ、アオサギ、狐、穴熊などです。ふくろう

の餌の大半はモグラであるとの記録もあるそうです。そし

て最大の天敵は何を隠そう我々人間なのです。毒の入った

餌を仕掛けたり、超音波発生装置の忌避装置、鉄製のモグ

ラ罠等を使ったりとあの手この手での対応がなされていま

す。もつと簡単なものでは畑でもよく見掛けると思いがすが、

モグラ穴に鉄の棒を突き刺してその先に缶を被せたり、ペ

ットボトルの風車を付けたりしている物です。

モグラ笑談

お宮でもよく見掛けるであろうモグラ穴も考えように困っては宝物かもしれませんよ。なぜって?

それは毛皮です。モグラを捕まえた事のある人は御存知かもしれませんが、あの毛皮はミンク並みだそうですよ。

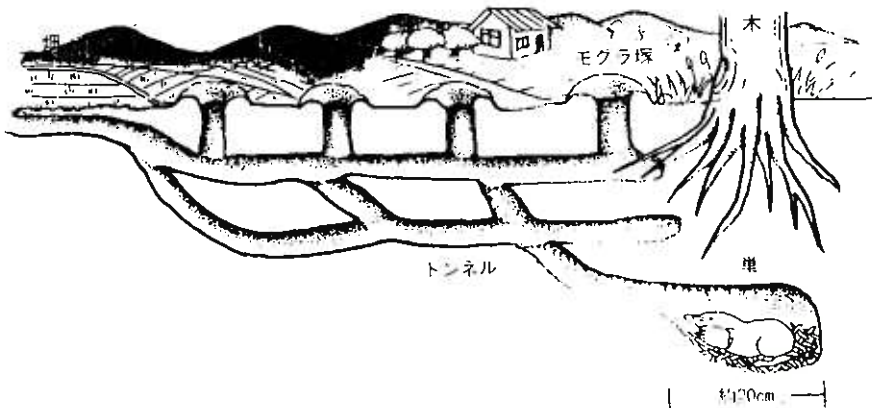
ひとつモグラ牧場でも作って繁殖し、毛皮の生産でもどう

ですか?

でも捕らぬためきの皮

算用“で終わるのが関の山でしょう。眼が見えなくても息

がある。実はモグラって大変頭のいい動物なんです。



愛媛県神道青年会

平成 9 年度歳入歳出予算書

自 平成 9 年 4 月 1 日 至 平成 10 年 3 月 31 日

歳入の部

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減 (△減)	附 記
1 会 費	270,000	300,000	30,000	年度会費 新年互礼会費
2 助成金	200,000	200,000	0	神社庁
3 寄付金	1,350,000	1,350,000	0	県内神社神職 その他援助金
4 雑収入	87,367	93,237	5,870	預金利子 会報広告料 還付金
5 繰越金	642,633	606,763	△35,870	昨年度繰越金
歳入合計	2,550,000	2,550,000	0	

歳出の部

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減 (△減)	附 記
1 会議費	400,000	400,000	0	総会 新年互礼会 その他会議
2 研修教化	500,000	500,000	0	地区協研修会 観月神楽 その他
3 事業費	700,000	600,000	△ 100,000	初詣案内 (ポスター・スポット)
4 広報費	180,000	180,000	0	若竹発行
5 事務費	120,000	150,000	30,000	事務用品 振替手数料 事務局手当
6 備品費	10,000	10,000	0	
7 旅 費	200,000	300,000	100,000	神青協総会 神青協役員会
8 慶弔費	40,000	40,000	0	御祝金 電報 その他
9 分担費	270,000	270,000	0	神青協繰出金 地区協繰出金 その他
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	30,000	10,000	△20,000	菓子
12 予備費	50,000	40,000	△10,000	
歳出合計	2,550,000	2,550,000	0	

平成九年度活動計画

自 平成九年四月一日
至 平成十年三月三十一日

一、平成八年度会計監査会（四月二十一日 於 国際ホテル松山）

武智会長、眞鍋事務局、堀・井上両監事出席

一、神青協役員（四月二十二日 於 神社本庁）

武智会長出席

一、神青協第四十九回定例総会（四月二十三日 於 神社本庁）

単位会会長事務局長連絡会議（四月二十三日 於 神社本庁）

武智会長、眞鍋・飯尾両副会長出席

一、日本の伝統と文化を守る愛媛県民の会第一回役員会

（四月二十三日 於 国際ホテル松山）

宮田理事出席

一、役員会（五月十二日 於 国際ホテル松山）

武智会長、眞鍋・吉田両副会長他九名出席

一、第二十六回定時総会（五月十二日 於 国際ホテル松山）

武智会長、眞鍋・吉田両副会長他三十二名出席

一、第一回地区協役員会

（五月三十日 於 高知サウスブリーズホテル）

一、会報「若竹」三十三号発刊

一、地区協神道行法錬成会（八月五日～六日 於 高松）

一、地区協研修会（八月二十一日～二十二日 於 高知）

一、神青協夏期セミナー（八月下旬～九月上旬）

一、観月神楽の夕べ

一、会報「若竹」三十四号発刊

一、初詣案内ポスター製作配布

一、初詣案内スポット

一、新年互礼会

一、神青協中央研修会（平成十年三月五日～六日 於 神奈川）

一、その他役員会決議事項

第一回神道青年四国地区協議会 神道行法鍊成会開催要綱

一、主催 香川県神社庁研修所 神道青年四国地区協議会

一、当 番 香川県神道青年会

一、期 日 平成九年八月五日(火)・六日(木) 一泊二日

一、集合日時 平成九年八月五日(火) 午後一時より受付

一、場 所 香川県高松市東山崎町一〇九八 石清水神社(吉見一尚 宮司)

電話〇八九七―四七―五六〇八

一、講 師 講演講師 柘植 宗尚 先生(大野原八幡神社宮司)

道 彦 森口 美文 (国分八幡宮祢宜)

助 彦 秋山 光孝 (山北八幡神社祢宜)

一、持参品 白衣、白袴、白足袋、白鉢巻、白禪、草履、洗面具、筆記用具等

一、申し込み 平成九年六月二十五日(水)までに事務局まで御連絡下さい。

一、宛 先 〒七九八 宇和島市和霊町一四五一 和霊神社々務所内

愛媛県神道青年会 事務局 吉田 充興

電 話〇八九五―二二―〇一九七番

FAX〇八九五―二二―〇二二七番

一、附 記

(1) 全日程を終了した神職の方には、香川県神社庁研修所より修了証が授与されますので、お申込みの際には、必ず生年月日を事務局までお知らせ下さい。

(2) 参加者は、別紙の「ひふみの祓詞」及び「十種神宝大御名」を暗唱出来るくらい反復練習して来て下さると幸いです。

編集後記

いやはや、あいも変わらず
発刊が遅れてしまいました。
今回は原稿を入力しているフ
ロッピーを踏んづけて割って
しまいました何人かの方には
大変御迷惑をお懸けしてしま
い面目次第もございませんで
した。

最近の若竹でも採り上げて
います様に、自然に接する事
が大変なブームとなつてきて
おりますが、皆様はどんなお
考えをお持ちでしょうか。私
事ではありますが、最近「グ
ッピー始まってグッピーに終
わる」という熱帯魚界では大
変有名な言葉を噛み締めてい
ます。今、自宅で二百匹程の
様々な熱帯魚を飼っています
が、皆様方の中にも飼ってお
られる方がおいでだと思いま
す。最初は大抵の方が「綺麗
だから」といった理由で飼い
始め、グッピー等が繁殖して

新鮮な感動を味あわれたか、
すぐに魚達を殺してしまい、
飼育を止められたかだと思ひ
ます。

現在日本には大量の養殖さ
れた魚達ちが輸入され、消費
されています。果たしてこれ
らの魚たちをどれだけの人が
飼いつつていてるでしょうか。
大半がすぐに死ぬか、飽きら
れるかだと思われれます。

生き物を飼育、栽培するの
はやはり、難しいです。でも
ちゃんと個々の特徴を掴み、
環境を整えてやりさえすれば、
そう難しいものでもありません
おなじ「飼う・育てる」なら、
いきいきとした、その個体本来
の輝きを味わいたいものです。
自然の中に有るからこそ美し
いのも真理でしょうし、手元
に置いて愛でる事も無くなり
はしないでしょう。

我々神道人は自然の営みと
いうものを一般の人達以上に
理解しなければ、これからの
社会の中では難しい立場へと
追い込まれて行くのではない
でしょうか。

後は、皆さんがそれぞれの
立場で考えてみてください。

事務局が
変わりました。

郵便番号 七九一
宇和島市和霊町1451
和 霊 神 社
☎〇八九五
二二一〇一九七
FAX〇八九五
二二一〇二二七

お間違えの無きように!!

お守りの御下命は

水戸奉製

〒三二一ー一四一
茨城県水戸市中丸町四八六一五
電話〇二九二ー五二一七五六三
FAX 五五ー二二三二一

会員の皆様へ

年会費 五千元

納入のお願い

神道青年会の会費納入率
が五割を切りそうな状況で
す。会の活動のため、ぜひ
とも会費納入をお願いしま
す。

県内各神社の皆様方、神
道青年会活動に御理解御協
力を戴き、ありがとうございます。
本年度もぜひ、御
協力下さいますよう御願ひ
申し上げます。

愛媛県 神道青年会 会報

若 竹 年会費 五千元

事務局 〒七九一
宇和島市和霊町一四五
和 霊 神 社

TEL〇八九五ー二二一〇一九七
FAX〇八九五ー二二一〇二二七
編集者 〒七九九ー一

東予市円海寺一九一

飯 尾 眞 通
電〇八九八ー六四一〇八九三
(FAX 兼)

会費振替
〇一六七〇ー二一三三三五八

愛媛県神道青年会